

5月19日、世界農業遺産をマンガで学ぶ初めての授業が、武蔵中学校で実施されました。

4月に入学した新1年生には、世界農業遺産の基本的な知識や国東半島宇佐地域が認定された理由を学んでもらうため、国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会（以下同協議会）が今年の3月に発行した「木が食料を産むくヌギ林とため池がつなぐ農林水産の輪」を教材として使うことにしました。

教材の中にも登場する同協議会の林浩昭会長が、「自分たちの周りにあるものが、生まれてからずっと存在しているので不思議に思わなかったかもしれないが、他のところと比べてどう違うのか。ため池など他の

4月に入学した新1年生には、世界農業遺産の基本的な知識や国東半島宇佐地域が認定された理由を学んでもらうため、国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会（以下同協議会）が今年の3月に発行した「木が食料を産むくヌギ林とため池がつなぐ農林水産の輪」を教材として使うことにしました。

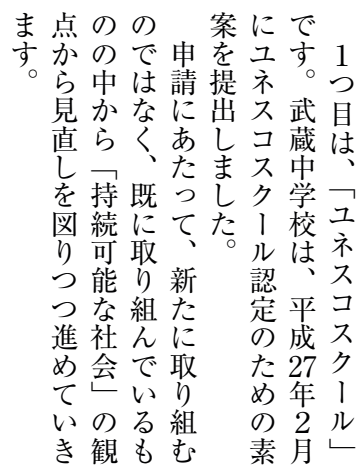
地域にないものがどうしてここにあるのかについて、興味を持ってほしい。そして、地元の誇れる農業文化を、自分の言葉で語ることでできる大人になってほしい」と話しました。

地域にないものがどうしてここにあるのかについて、興味を持ってほしい。そして、地元の誇れる農業文化を、自分の言葉で語ることでできる大人になってほしい」と話しました。

今まで世界農業遺産のことを知らなかったのだから学んでいきたい。昔ながらの伝統的な農業をしている人の偉大さがわかった。自分が出ている吉弘楽のような伝統行事とのかかわりを知った」とありました。

武蔵中学校は、今まで自分たちが世界農業遺産について学んできたことを、2つの取り組みへ結び付けようとしています。

マンガを描いたのは、県内出身の漫画家アキヨシカズタカさん。アキヨシさんは、国東半島の自然や文化を題材にマンガを描いており、平成25年からアストくにさきで開催している「アストくにさきマンガフォーラム」にも出演しています。このマンガは、平成27年3月に2千部を発行し、国東半島宇佐地域の小学校6年生全員に配布。その他県内の小学校には、1部ずつ配布しました。な



ものになりま
す。

2つ目は、
国東半島宇佐
地域世界農業
遺産について
説明するパン
フレットの外
国語版の作成

26年度に、世界農業遺産ブランド推進事業で世界農業遺産について学んだ3年生が、2学期に自分たちで学んだことを整理し、その内容を外国語版のパンフレットにし、外国人が多く訪れる大分空港のロビーなどに置く予定になっています。

このように、武蔵中学校の生徒は、世界農業遺産の勉強を通じて、世界に自分たちの故郷をアピールしようとしています。

1953年、ASPnet（Associated Schools Project Network）として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。世界181か国で約10,000校がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2015年4月現在、913校の幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。大分県内の学校は現在登録はされておらず、他には鶴崎中学

